

平成 年 月 日

調査報告書

対象 株式会社 ABC
神奈川県 市 区 1-2-3
代表取締役

上記について以下のとおりご報告申し上げます。

記

- 株式会社 ABC
- 代表者について
- 有限会社 X の買収について

総合所見

株式会社 ABC は、建材・住宅資材販売を主に手掛けており、CAD を駆使した 2 × 4、在来工法、鉄骨造等の建築工事や分譲地販売等の不動産業も併営し、一級建築士でもある。

私募債を発行するなどから対外的な与信は確立している。

また、同社の代表である A 氏は温厚で仕事熱心で、男気のある人物として捉えられており、難は聞知されない。また懸念される諸団体などへの所属も認められなかった。

尚、有限会社 X の買収に関しては、同社代表の B 氏が病気の為、長期療養となり、その為、同社のメインバンクが Y 氏の知人である株式会社 ABC の A 氏の元へ支援を打診、平成 年 月 日付で買収合意に至った。

1. 株式会社 ABC

登記内容等

商号	株式会社 ABC
本店	神奈川県 市 区 1-2-3
電話番号	012-345-6789
設立	昭和 年 2 月
資本金	5000 万円

目的

1. 木材の販売
2. 建材及び住宅関連商品の販売
3. 土木・建築工事の設計、施工、監理、請負
4. 不動産の売買、賃貸借並びにその仲介
5. 前各号に付帯する一切の業務

役員	代表取締役 A (社長)
	取締役 B
	(専務 / 有限会社 X 代表取締役)
	取締役 C
	取締役 D
	監査役 E

沿革 昭和 年 2 月 10 日上記住所において
現代表者が資本金 1000 万を以て創業設
立。同 年 9 月 1500 万、平成 年
月 5000 万と増資を重ねて現在に至る。

各種登録免許など

建設業者登録（知事）xxxxxxx 号

宅地建造物取引業（知事）xxxxxxx 号

一級建築士事務所

事業内容 建築資材・・・70.3%
分譲地販売・・・21.4%
建築工事・・・4.6%

主要仕入先 F 建材、G、H 林業、I 建材、J 木材セン
ター、他
海外からの輸入は、中国の駐在所を介
して行っている。建築工事の施工は、下
請業者への一任多く、K 建設、L 工務店
等。

販売先 M ホーム、Nハウジング、O 工務店、一
般顧客、不動産業者
口座数は約 500 社内外。継続取引先は
概ね 100 社前後。1 社に対する売上は 10
万～150 万円の間で推移。

主要株主	A 氏、社員持株会
取引銀行	三井住友銀行、みずほ銀行
従業員数	23 名 定着率よく永年勤続者が多い。
営業所	中国駐在事務所 中国 省 XXXXXX1-2-3

営業実態等

国内・輸入木材を中心に取り扱うほか、国内・輸入建
や住宅設備機器類などの建築資材の販売会社。中国に
駐在事務所を設けて輸入を行っている点が差別化に
繋がっている。

業歴は 年余りが経過。地元を営業拠点とし、近隣地
区で行われる工事現場への商品を提供。また在来軸組
工法、2×4、金物工法、鉄筋コンクリート工法等の
建築及びリフォーム工事、また宅地建物取引業許可を
取得し分譲販売並びに不動産仲介と賃貸、更に一級建
築士事務所として設計業務も併営。近年、建築工事の
仕掛物件はやや横這い気味ながら、リフォーム工事は
まずまずの動きと聞かれ、分譲地に関してはミニ区画
を中心に良質な物件を検索しつつ展開している。

既往の業績動向は下表のとおり。金利負担や貸し倒
れ損失などに押されて、収益内容の変動が大きいもの
の、一応採算性をキープしている点は評価が高い。平
成 年 9 月期は年商 26 億円台まで底上げし、4 期連
続増収推移を辿り収益性も上昇基調。特に同期は不良
性債権を償却しても最終利益が最高の内容に達して
いる。

・・・以下続く

業績

200X年9月 売上 2,457,567千円 利益 42,531千円

200X年9月 売上 2,512,824千円 利益 16,318千円

200X年9月 売上 2,644,141千円 利益 32,815千円

資金状況について

平成 年9月期に銀行保証付の無担保私募債を発行、これに伴い、三井住友銀行との取引が開始された。翌年同期中にも発行しており、償還期限はいずれも5年後の一括償却と聞かれる。この分と合わせた長期返済分の金融債務は、前年対比で約4500万の圧縮。負債合計が前期比で減少した一方で、純資産額は微増ながら883万円増加。結果的に

・・・以下続く

2 . 代表者について

代表取締役 A (59 歳)

生年月日 昭和 年 月 日

現住所 神奈川県 市 234-5

電話番号 012-987-654

最終学歴 昭和 年 月 大学 学部卒業

経歴

大学卒業後は、Z 社に入社し東京支社へ配属、昭和 年 3 月に都内の 建設へ転じ建設住宅資材に関する経験を積む。

昭和 年 8 月 日独立して株式会社 A を設立。自ら代表取締役に就いて今日に至る。温厚で仕事熱心な人物。平成 年 月設立の有限会社社は関連会社と位置付けられており、同社の監査役を務めている。

居住地評等

本人宅は、小田急江ノ島線の 駅より北東方向へ Xkm に位置する住宅。

本人家族は、当地に約 5 年居住しており、近隣とも親しく付き合っている模様。近隣住民によると本人は「男気のある人」「弱い人を見過ごせない人」などの談が得られ、好評が聞かれる人物。「会ってみたら分かりますよ」とのコメントも聞かれ、当地では非常に信頼されている。株式会社 A の代表であることや業種までも周知されており、挨拶も含めコミュニケーションが図られている模様。現在、妻と高校生の長男、長女の 4 人家族で生活を送っている。当地にて、トラブル等の醜聞が聞かれることはなかった。

所属団体および背後関係

該当なし

3 . 有限会社 X の買収について

買収の経緯

従前、取引先の紹介で知り合った B 氏は、株式会社 XY の経営者。平成 年 11 月に設立して代表取締役就任し、建築工事と不動産事業の業容で、年間 28 億の売上実績を確保。一方で平成 年 9 月には有限会社 X を発足。同社は B 氏 100% 出資会社。株式会社 XY が所有する工場をセントラルキッチンとして、そば汁・カット野菜・てんぷら製造を行い、直営の立ち食いそば店へ食材を運び、そば、うどんを中心にライス物や酒類販売の飲食店が業容
..... 以下続く。